

# えのもとだより



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。  
地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事と  
お慶び申し上げます。

年に4回発行しております『えのもとだより』は、御愛読くださる患者さま、そして当院スタッフの協力で、ちょうど10年目を迎えることができました。

昨年の榎本医院は大きな動きがございました。2月には電子カルテを全面稼働いたしました。導入直後には患者様にご迷惑をおかけいたしました。現在は軌道にのり、診療レベル向上・データ管理・待ち時間短縮等に役立っていると思っております。

また今まで有床診療所として入院診療を行ってまいりましたが、4月に2階の入院病棟を閉鎖し、そのスペースを利用し内視鏡検査室と検査後に休んでいただくためのリカバリー室等に改装いたしました。特に大腸内視鏡検査の前処置室・トイレ・検査室・リカバリー室へと移動が容易になり、快適に検査を受けていただけるようになりました。尚、ポリープ切除は従来どおり行い、日帰りにて対応しております。肛門手術に関しても可能な限り日帰りにて対応しております。

9月には内視鏡システムを全面新機種のものに入れ替え、今まで以上に病変の観察・診断・治療が飛躍的に向上しました。県下2番目の導入となるこのシステムを大いに活用して、早期発見・早期治療を目指します。

おかげさまで大腸内視鏡検査件数は昨年600件以上に達し、県内南和地域において最多件数を誇ります。今後も増加する大腸がんの早期発見に貢献していきたいと考えております。

今年の4月には大淀町福神に南奈良総合医療センターが開院する予定です。地域の方々や我々のような医療従事者から大きく期待されている新病院です。今後、患者様の病態に応じて紹介・逆紹介があると思っておりますが、患者様が受診しやすい良好な病診連携がとれるよう努力していく所存です。

今後も患者様満足度の向上を目指し、榎本医院は前進してまいります。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



【大阪・淀川市民マラソン 2015】



【大阪マラソン 2014】



【奈良マラソン 2014】



## 名誉院長 榎本泰久

新年明けましておめでとうございます。

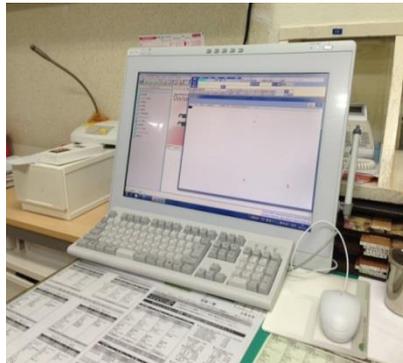
当院は、昨年3月末で入院病棟を閉鎖し、ご不便をおかけ致しましたが、入院を必要とされる患者様は、適時近隣の病院へ紹介させていただき、大過なく無事診療を終える事が出来ました。これも偏に皆様方との深い信頼関係によるものと深く感謝しております。

いよいよ、10年先の2025年には65歳以上が3人に1人、75歳以上が5人に1人と、超高齢化社会を迎えることとなります。我が国の平均寿命は男性80.21歳 女性86.61歳と世界1位で、健康寿命は男性71.19歳、女性74.21歳です。今後健康寿命を延長させることが必須です。それには疾病の早期発見が大切となり、昨年9月に最先端の上部、下部内視鏡を導入し早期がんの発見に努めております。また健康寿命を第一に妨げる疾病は骨折などによる運動機能障害が25%と最多を占めており、骨粗しょう症の治療にも心血を注いでおります。

今年も地域の皆様信頼され、愛される医院となりますよう、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。皆様方のご健康とご多幸を心からお願い致します。



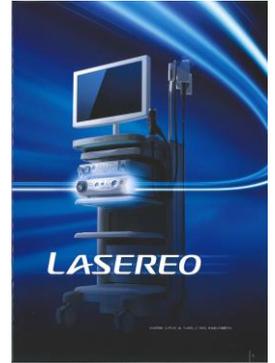
【防火訓練】



【電子カルテ】



【新内視鏡室】



【新機種導入】

## 院内勉強会(あすなる会)

1月 【亜鉛の基礎知識と有用性】

2月 【インシュリンについて】

【尋常性乾癬】

3月 【新しいPPIについて】

【電子カルテ】

4月 【衛生管理について】

【PPIについて】

5月 【個人情報保護について】

【SGLT2について】

6月 【糖尿病治療の現状と課題】

【脂質異常症について】

7月 【認知症について】

【糖尿病と肥満】

8月 【病態別輸液の使い分け】

9月 【感染症対策】

【疼痛のメカニズムと薬物療法】

10月 【高尿酸血症の合併症とメカニズム】

【衛生管理について】

11月 【下部尿路症状を訴える男性患者に対する薬剤の適正使用】  
【骨粗鬆症ガイドライン】

12月 【糖尿病と肥満】